

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	ヴォーカルⅢ	
科目基礎情報							
開設学科	声優・演劇科		コース名	俳優コース／声優コース		開設期	前期
対象年次	2年次		科目区分	選択		時間数	60時間
単位数	2単位					授業形態	実習
教科書/教材	授業内に必要資料を配布する						
担当教員情報							
担当教員	国友よしひろ・深水みゆき・岡村美帆			実務経験の有無・職種	有・音楽講師		
学習目的							
1年次で学んだスキルを基に、声優及び演劇の現場において必要とされる声楽歌唱並びに読譜技術、更には表現実務における音楽的表現の向上を目的とする。							
到達目標							
卒業後の活動におけるさまざまな面接及びオーディションを想定しつつ、主に声楽歌唱における音楽的スキルの習得並びに個々のスタイルに合った表現を身に付けることを目標としている。							
教育方法等							
授業概要	この授業は演習を中心としている。最初に歌唱に必要な基礎的ウォーミングアップを行い、その後スコアを基に読譜する。さまざまなスタイルの歌唱演習を行いながら、呼吸・体・技術のバランスを考えた歌唱方法を課題ごとに学習していく。客観的視点を基に全体及び個別による演習と指導を行う。						
注意点	ウォーミングアップ及び歌唱に支障のない服装を求める。授業中の私語、受講態度には厳しく対応する。 授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	学期末発表	40%	学期末に行う演習				
	各演習	30%	授業内に提示される各課題の演習				
	平常点	30%	演習中心の授業における積極的な授業参加の度合い、コミュニケーション力				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	オリエンテーション			前期の授業内容の確認と、個別インタビュー（個々の対話から、各課題を知る）			
2回	理論的な歌唱表現のトレーニング①			主に音程・強弱・操作・日本語の発音を中心とした歌唱スキルの習得実践、全体及び個別指導			
3回	理論的な歌唱表現のトレーニング②			主に音程・強弱・操作・日本語の発音を中心とした歌唱スキルの習得実践、全体及び個別指導			
4回	理論的な歌唱表現のトレーニング③			主に音程・強弱・操作・日本語の発音を中心とした歌唱スキルの習得実践、全体及び個別指導			
5回	リズムのトレーニング①			主に歌唱におけるリズムを中心とした習得実践、全体及び個別指導			
6回	リズムのトレーニング②			主に歌唱におけるリズムを中心とした習得実践、全体及び個別指導			
7回	リズムのトレーニング③			主に歌唱におけるリズムを中心とした習得実践、全体及び個別指導			
8回	ハーモニーの基礎トレーニング①			主に歌唱におけるハーモニーを中心とした習得実践、全体及び個別指導			
9回	ハーモニーの基礎トレーニング②			主に歌唱におけるハーモニーを中心とした習得実践、全体及び個別指導			
10回	ハーモニーの基礎トレーニング③			主に歌唱におけるハーモニーを中心とした習得実践、全体及び個別指導			
11回	さまざまな歌唱スタイル①			さまざまな歌唱スタイルの習得実践、全体及び個別指導			
12回	さまざまな歌唱スタイル②			さまざまな歌唱スタイルの習得実践、全体及び個別指導			
13回	学期末テストの練習①			学期末テストの課題提示と練習、全体及び個別指導			
14回	学期末テストの練習②			学期末テストの課題提示と練習、全体及び個別指導			
15回	学期末テストと反省			学期末テストの実施と個別指導、並びに今後の課題			